

○地元設楽町の費用負担とダム地域整備関係費用の比率は3.6%

**設楽ダム建設同意に係る確約事項について
(回答) by 愛知県副知事回答(2008.12.12)**

(具体的内容)

- ・水源地域整備事業
事業数：79事業、事業費総額：56,004百万円
- ・水源基金振興事業
事業数：7事業、事業費総額：5,814百万円

合 計：61,818百万円

このうち町負担額は、町主体事業を中心に11,277百万円となる。

*町負担額の内訳

町実質負担額 2,255百万円 (=11,277×20%)	全体の3.6%
県・下流市町負担額 9,022百万円 (=11,277×80%)	

- ・一般行政事業
事業数：6事業、事業費総額：21,375百万円

※ 参考資料：設楽ダム建設に係る水源地域振興のための事業の概要を参照

(3) 費用対効果の考え方

3. 設楽ダム計画を考える
(1) ダム計画の成立条件

ダム建設による便益	≧	ダム建設による費用
↓		↓
水利用, 治水, 環境改善		ダム建設費, 維持管理費 (水源地域対策費, 環境コスト)

ここでの問題

- ① 本当に便益が発生するのか — 発生しなければ意味がない。
- ② 誰が便益を受け、誰が費用を負担しているのか — 全体として考えたい。
- ③ 水源地域対策費、環境コストが含まれていない — 重大な過失

15

○設楽ダムの水は安い、高いか。

(2) 水資源開発の根拠を問う

設楽ダムの水源費の特徴
水道0.179m³/sの開発のために、600万m³を確保。愛知県負担152億円 (1m³/s=849億円)は異常に高い。さらに実際の負担は利息を含むので、もっと高くなる。

参考:
長良川河口堰:名古屋市の水道2m³/sの負担額は83.1億円 (1m³/s=41.6億円)、利息を含めて154.2億円 (1m³/s=77.1億円)。水源費は非常に安い。ただ、名古屋市の場合は河口堰の水を使っていないので、その点では異常に高い買い物。導水路費用を考えると決して安くはないが。
徳山ダム:1m³/s=137億円、利息を含めて423億円。徳山ダムもこれ以外に導水路を必要とする。